

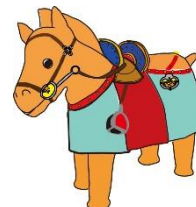
令和2年12月17日



担当課	文化振興課 博物館
担当者	前田・泉
電話	(073) 423-0003
内線	

そうだ、博物館へいこう。

冬季企画展「歴史を語る道具たち」



和歌山市立博物館の冬の企画展は「歴史を語る道具たち」と題し、和歌山で実際に使われていた昔の道具を展示します。今年度は、近年博物館に寄贈された新たな資料約20点を加えて約110点、明治から大正、昭和にかけての人々の暮らしの知恵と工夫、またその移り変わりをうかがうことのできる資料をそろえました。

子どもたちはもちろん、昔の暮らしをご存じの方々まで、幅広い年齢層の皆さまのご来館をお待ちしております。この冬は博物館で、時間旅行をしてみませんか？

1 会期 2021年1月5日(火)～2月28日(日)
休館日：月曜日・祝日の翌日
開館時間：9時～17時(ただし入館は16時30分まで)

2 入館料 一般・大学生 100円 高校生以下 無料 こども無料

※障害者、和歌山市が発行する老人優待券をお持ちの方は無料
※20人以上の団体は2割引

3 場所 和歌山市立博物館 2階 特別展示室
〒640-8222 和歌山市湊本町3-2
市民会館となり・南海電鉄和歌山市駅から徒歩5分
TEL:073-423-0003 FAX:073-432-9040



あだ名は人工衛星スプートニク！



つち音を響かせていたのはいつだろう…。

開催要項

1. 開催趣旨

和歌山市立博物館は、開館より40年近い歳月の間に、市民の皆さまからご寄贈いただいた様々な民具を所蔵しています。それらは、かつて和歌山に暮らした人々の生活をうかがい知ることのできる貴重な資料です。本展覧会は、小学3年生の社会科の授業と連携し、子どもたちに昔の暮らしを学んでもらう教育プログラムの一環として開催します。また同時に、昔の思い出を懐かしむ市民の皆さまに広くお集まりいただきたく企画しました。

2. 展示構成

展示は6部構成です。暮らしの道具、遊びと勉強、はかる道具、暖まる道具、食事の道具、明かりの道具からなっています。加えて今回は、洗たくとアイロン道具の移り変わりを知ることのできるコーナーを設けました。総展示数は約110点、その内新たに加えた資料が約20点あります。

3. 主な展示品

暮らしの道具：富山の置き薬、手押しポンプ式キンチョール、カルキュレーター、
明治時代の電話、ハエたたき

遊びと勉強：石板、ダイヤモンドゲーム、お人形用のタンス

はかる道具：竿ばかり、一斗マス、天秤

暖まる道具：火鉢、湯たんぼ、レンタン、ミニふいご

食事の道具：かつお節削り、七輪、すり鉢

明かりの道具：行燈、提灯、民芸調電気スタンド



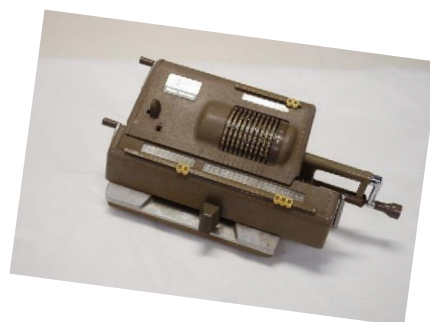
かつお節削り



ダイヤモンドゲーム



キンチョール



カルキュレーター

とうききかくてん
冬季企画展

れきし

かた

どうぐ

歴史を語る道具たち

All The Tools Tale A History

2021 1.5(火)→2.28(日)

き み かん く ちえ くふう かずかず
"来て見て感じて暮らしの知恵と工夫の数々"



休館日：月曜日・1月12日・2月12日・24日

開館時間：9:00～17:00

(入館は16:30まで)

入館料：一般・大学生100円

高校生以下無料・こども無料

※障害者・和歌山市老人優待利用券ご呈示の方は無料

※団体は20名以上2割引



感染防止対策にご協力ください。

見学時はマスクを着用し、距離をとってご覧ください。

発熱や咳等の症状のある方は、ご遠慮ください。

和歌山市立博物館

Wakayama City Museum

640-8222 和歌山市湊本町3-2 TEL073-423-0003

<http://www.wakayama-city-museum.jp>